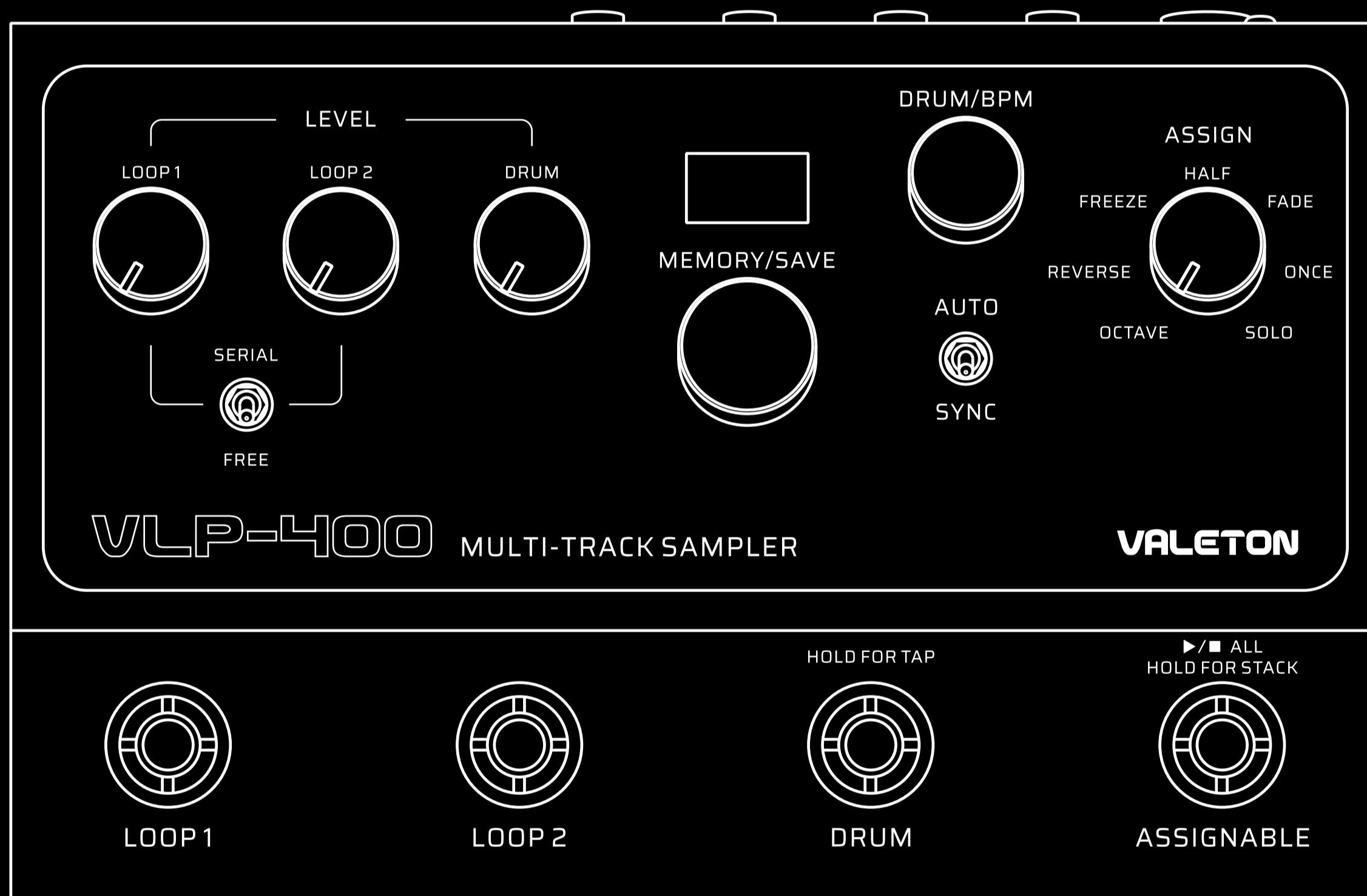


# VLP-400

## MULTI-TRACK SAMPLER

### ユーザーマニュアル

For Firmware V1.1.0



# VALETON

※ 製品改良のため、仕様および製品内容は予告なく変更される場合があります。外観、パッケージデザイン、マニュアル内容、付属品、サイズ、パラメータ、ディスプレイ画面を含むがこれらに限定されません。正確な最新情報については販売業者にご確認ください。製品の仕様や機能は環境要因によりモデルごとに異なる場合があります。また、すべての画像はイメージです。

# 目次

ご挨拶	1
注意&安全な使用法	1
概要	3
パネル紹介	4
出力モードの選択	8
LOOP 1・2 基本チュートリアル	9
LOOP フットスイッチインジケーターの色	9
録音・再生・オーバーダブ・削除	10
アンドウ／リドウ	10
録音時間に関するヒント	11
SERIAL / FREE モード	12
ドラムと同期	14
DRUM フットスイッチインジケーターの色	14
SYNC 機能	14
AUTO ドラムモード	14
ASSIGNABLE フットスイッチ	15
SERIAL モードにおける ASSIGN 機能	15
FREE モードにおける ASSIGN 機能	16
他の ASSIGNABLE 機能	17
ASSIGNABLE インジケーターの色	17
録音プロジェクトと保存	18
プロジェクト情報	18
プロジェクトの保存	18
外部フットスイッチ (CTRL1・2) の機能	19
MIDI 機能	20
MIDI チャンネル選択	20
MIDI インターフェースロジック	20
対応ソフトウェア	22
スペシフィケーション	23
トラブルシューティング	24
ドラムリズムリスト	25

## ご挨拶

この度は VALETON 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
面倒かもしれません、VLP-400 を最大限に活用するためにこのマニュアルをよくお読みください。  
このマニュアルは将来参照できるよう大切に保管してください。

## 注意&安全な使用法

### 取扱い上の注意

- ・本機を水気ある場所で使用しないで下さい。電気ショックの危険性があります。
- ・本機を火気の近くで使用しないで下さい。
- ・強度な電磁場内でのこの装置の操作は避けてください。
- ・本機は精巧に製造された電子機器です。スイッチやコントロールに過度の力を加えないでください。
- ・タッチスクリーンに過度の力を加えないでください。
- ・本機に異物を混入しないでください。故障の原因になります。
- ・本機は長時間使用すると暖かくなりますが、これは故障ではありません。
- ・近くで雷が発生していたり長い期間本機を使用しないときは、アダプターを電源から抜いてください。

### 電源および入出力ジャックの接続

- ・ケーブルを接続または取り外しする前に必ず本機および他のすべての機器の電源を切ってください。また、本機を移動する際は、すべての接続ケーブルと AC アダプターを取り外してください。

### クリーニング

- ・乾いた柔らかい布を使用して外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないでください。

### 改造等

- ・本機を開けないでください。
- ・自分で本機の修理を試みないでください。
- ・強い電磁場内でのこの装置の操作は避けてください。

### 電源ソース

- ・付属アダプター、または DC 9V センターマイナス (500mA 以上) の電源を使用してください。エアコン、冷暖房機器等の使用により、電圧が著しく低下する場合があります。家庭 100V 電源が正しく出力されているか確認しましょう。

## 故障について

- ・本機に故障が発生した場合は、AC アダプターを取り外し、直ちに電源を切ってください。その後、接続されているすべてのケーブルを外してください。
- ・モデル名、シリアル番号、故障に関する具体的な症状、お名前、ご住所、お電話番号を準備いただき、購入された販売店、または VALETON サポート ([info@hotone.jp](mailto:info@hotone.jp)) までご連絡ください。

**VALETON 製品をお選びいただき、誠にありがとうございます！**

## 概要

VLP-400 は、VALETON の最新多機能ルーパーであり、前モデルの VLP-200 をさらに強化した製品です。2 つの完全独立したループ、内蔵ドラムマシン、そしてドラムマシン制御やループエフェクトを拡張するための追加フットスイッチを搭載しています。

デュアルループの連携モードにより、2 つのループを並行して操作したり、曲のセクションをシームレスに切り替えたりすることが簡単にできます。

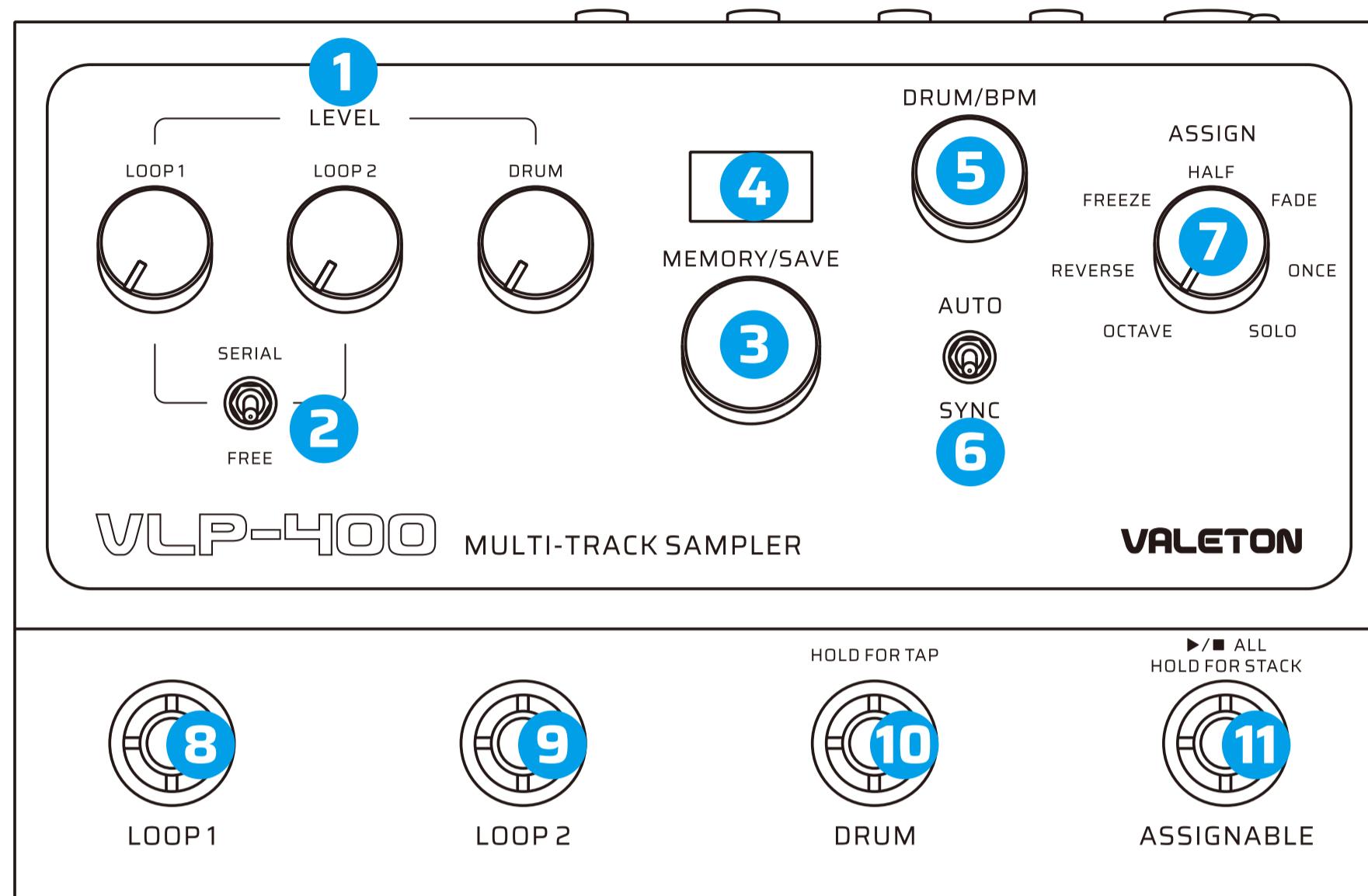
ドラムマシンには「AUTO」モードと「SYNC」モードが備わっており、無限のパフォーマンスの可能性を広げます。追加フットスイッチには、7 種類の実用的なループ機能やエフェクトが割り当てられ、クリエイティブなコントロールをさらに強化します。

本体には 99 個のプロジェクトスロットを内蔵し、専用ソフトウェアを使って簡単にプロジェクトのインポート／エクスポートが可能です。

VLP-400 は、まさにオールインワンのループワークステーションです。



## パネルの紹介



### 1. [LEVEL] LOOP 1、LOOP 2、DRUM

LOOP 1、LOOP 2、およびドラムの再生音量を調整します。

### 2. [SERIAL/FREE] トグルスイッチ

LOOP 1 と LOOP 2 の連携モードを切り替えます。

SERIAL (シリアル) : LOOP 1 と LOOP 2 が交互に再生

FREE (フリー) : LOOP 1 と LOOP 2 を同時に再生

### 3. [MEMORY/SAVE] ノブ (押し込みボタン付き)

ノブを回してプロジェクトを選択／呼び出し、押して現在の LOOP プロジェクトを保存、長押しで外部ペダルの機能設定モードに入ります。

### 4. ディスプレイ

プロジェクト番号、ドラムパターン番号、BPM などの情報を表示します。

### 5. [RHYTHM/BPM] ノブ (押し込みボタン付き)

ノブを回してドラムパターンを選択または BPM (テンポ) を調整します。押すことで調整対象 (RHYTHM または BPM) を切り替えます。

## 6. [AUTO/SYNC] トグルスイッチ

ドラムマシンのモードを AUTO または SYNC に切り替えます。

AUTO: 録音されたループに基づいて自動的に BPM を検出・設定

SYNC: 設定された BPM に従ってドラムマシンを再生

## 7. [ASSIGN] ノブ

ASSIGNABLE (アサインブル) フットスイッチに割り当てる機能を選択します。

OCTAVE (オクターブ) : トラックに 1 オクターブ下のエフェクトを加える

REVERSE (リバース) : トラックを逆再生

FREEZE (フリーズ) : トラックのある瞬間の音を無限にサスティーンする

HALF (ハーフ) : トラックを半分の速度で再生

FADE (フェード) : 録音されたトラックの音量を滑らかに減衰

ONCE (ワンス) : トラックを一度だけ再生し、再生後に停止

SOLO (ソロ) : 2 つの LOOP のうち、1 つだけを単独で再生

## 8. [LOOP 1] フットスイッチ

LOOP 1 の録音、再生、停止、オーバーダブ、UNDO、REDO を操作します。

空のループに対して: 録音 → 再生 → オーバーダブ

録音済みループに対して: 再生 → オーバーダブ

再生中またはオーバーダブ中に、2 秒以上長押しすると UNDO (直前の録音やオーバーダブの取り消し) が実行されます。再度長押しすると、REDO (UNDO の取り消し) が実行されます。

## 9. [LOOP 2] フットスイッチ

LOOP 2 の録音、再生、停止、オーバーダブ、UNDO、REDO を操作します。操作のロジックは LOOP 1 フットスイッチと同じです。

## 10. [DRUM] フットスイッチ

ドラムマシンのオン／オフを切り替えます。

長押しで タップテンポモード に入り、テンポ (BPM) を調整できます。

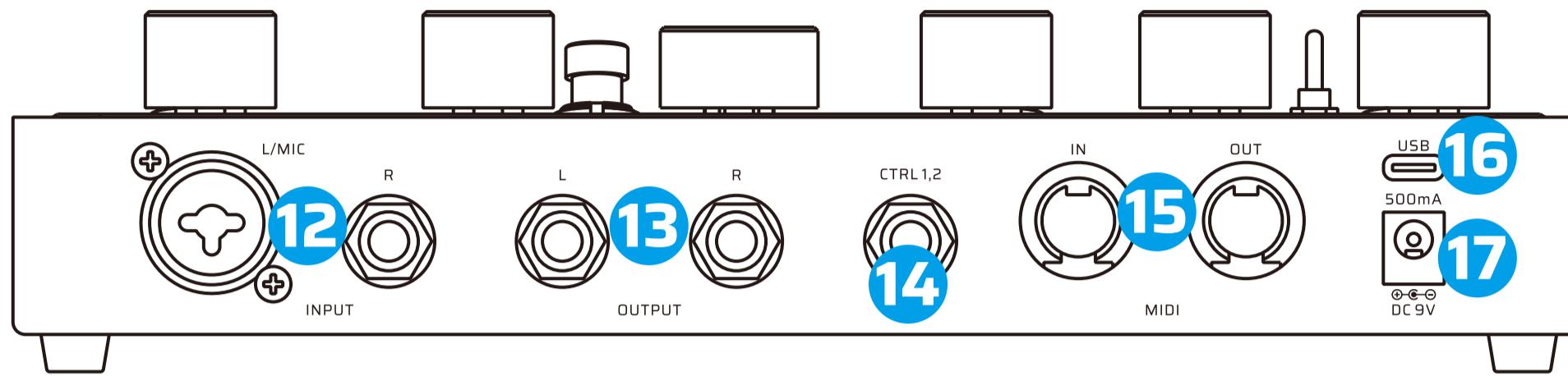
## 11. [ASSIGNABLE] フットスイッチ

このペダルには、ループトラックに適用するさまざまなエフェクトを割り当てることができます。

## パネルの紹介

ダブルクリック (素早く 2 回踏む) : 2 つの LOOP を同時に再生／停止

長押し: 任意の LOOP を選択し、「STACK」モードでオーバーダブ録音を行う



### 12. [INPUT (L/R) ジャック]

**L/MIC:** XLR または TS モノラルジャックを使用して、ギター、ベース、ダイナミックマイク、またはエフェクターペダルを接続します。

**R:** 1/4 インチ モノラルジャックで、ギター、ベース、またはペダルを接続します。

\*ステレオ出力機器を接続する場合は、L と R の両方のジャックを使用してください。モノラル機器を接続する場合は、L または R のどちらか一方のジャックを使用してください。

### 13. [OUTPUT (L/R) ジャック]

1/4 インチのアンバランス出力端子で、スピーカー、ミキサー、または録音機器に接続します。

**モノラル入力時:** L または R のどちらか一方のみが入力されている場合、OUTPUT L と R の両方からデュアルモノ出力。

**ステレオ入力時:** INPUT L および R の両方に信号が入力されている場合、OUTPUT L と R からそれぞれ対応するチャンネルのループ信号が出力されます。

\*注意: INPUT の L と R に同時にプラグが挿されている状態で、もし L または R のどちらか一方のチャンネルにしか信号が入力されていない場合は、対応する出力チャンネルからしかループ信号は出力されません。

### 14. [CTRL 1, 2 ジャック]

1/4 インチ TRS (ステレオ) ジャックで、外部ペダル (フットスイッチ) を接続するための端子です。接続したペダルには、各種機能を自由に割り当てることが可能です

### 15. [MIDI (IN/OUT) ジャック]

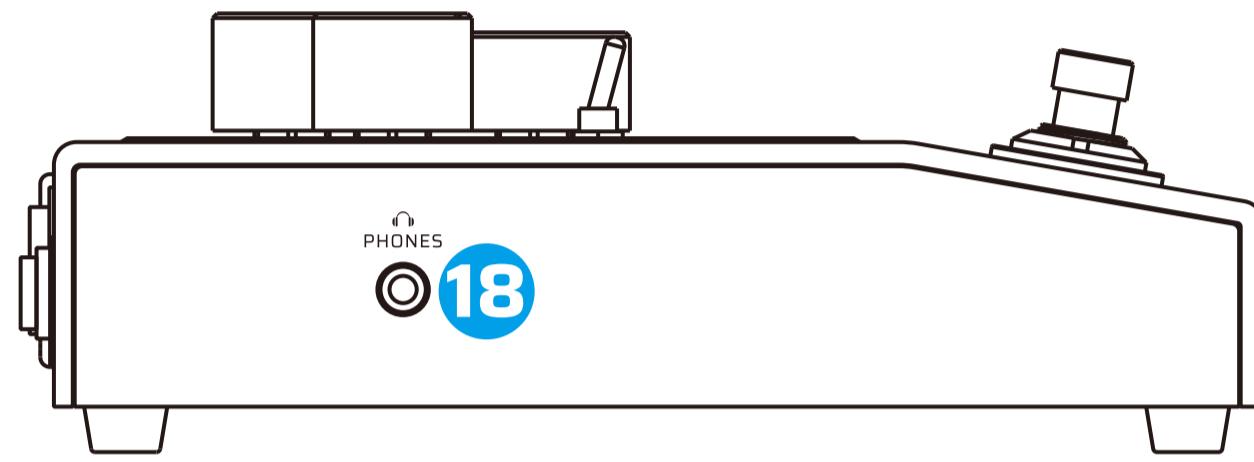
外部の MIDI 機器と接続するための端子です。MIDI 経由で同期や制御を行うことができます。

## 16. [USB ジャック]

USB 2.0 Type-C ポートを使用して、Mac または PC と接続することで、専用ソフトウェアを通じてプロジェクトのインポート／エクスポートやファームウェアのアップデートが可能です。

## 17. [DC 9V ジャック]

電源要件：DC 9V、500mA、センターマイナス



## 18. [PHONES]

1/8 インチ 3.5mm TRS ステレオ端子で、ヘッドフォンを接続して本機の出力をモニターするために使用します。

## 出力モードの選択

VLP-400 には 2 種類の出力モードが搭載されており、演奏者は用途に応じて自由に切り替えることができます。

### Mix モード

このモードでは、OUTPUT L および OUTPUT R ジャックから

楽器のダイレクト信号

ステレオループ信号

ステレオドラムマシン信号

が一緒に出力されます。

このモードは、OUTPUT L と R をフルレンジスピーカー 2 台に接続し、楽器ループとドラムマシンのサウンドをミックスしてステレオ再生したい場合に最適です。

### Separate モード

このモードでは、以下のように出力が分離されます。

**OUTPUT L:** 楽器のダイレクト信号およびループ信号（モノラル）

**OUTPUT R:** ドラムマシンの信号のみ（モノラル）

この設定により、OUTPUT L をギターアンプやエフェクトに、OUTPUT R をフルレンジスピーカーや別のエフェクト機器に接続することで、楽器音とドラム音を個別に処理・出力できます。

### 出力モードの切り替え方法

本体の電源がオフの状態で、[LOOP 1] フットスイッチを押し続けたまま電源を入れます。

本体が起動すると、出力モードが自動的に切り替わり、画面に現在のモードが表示されます。

モードを再度切り替えたい場合は、電源をオフにしてから、同じ手順を繰り返してください。

\*備考: デフォルトでは Mix モード に設定されています。電源を切ると、最後に選択した出力モードが自動的に保存されます。

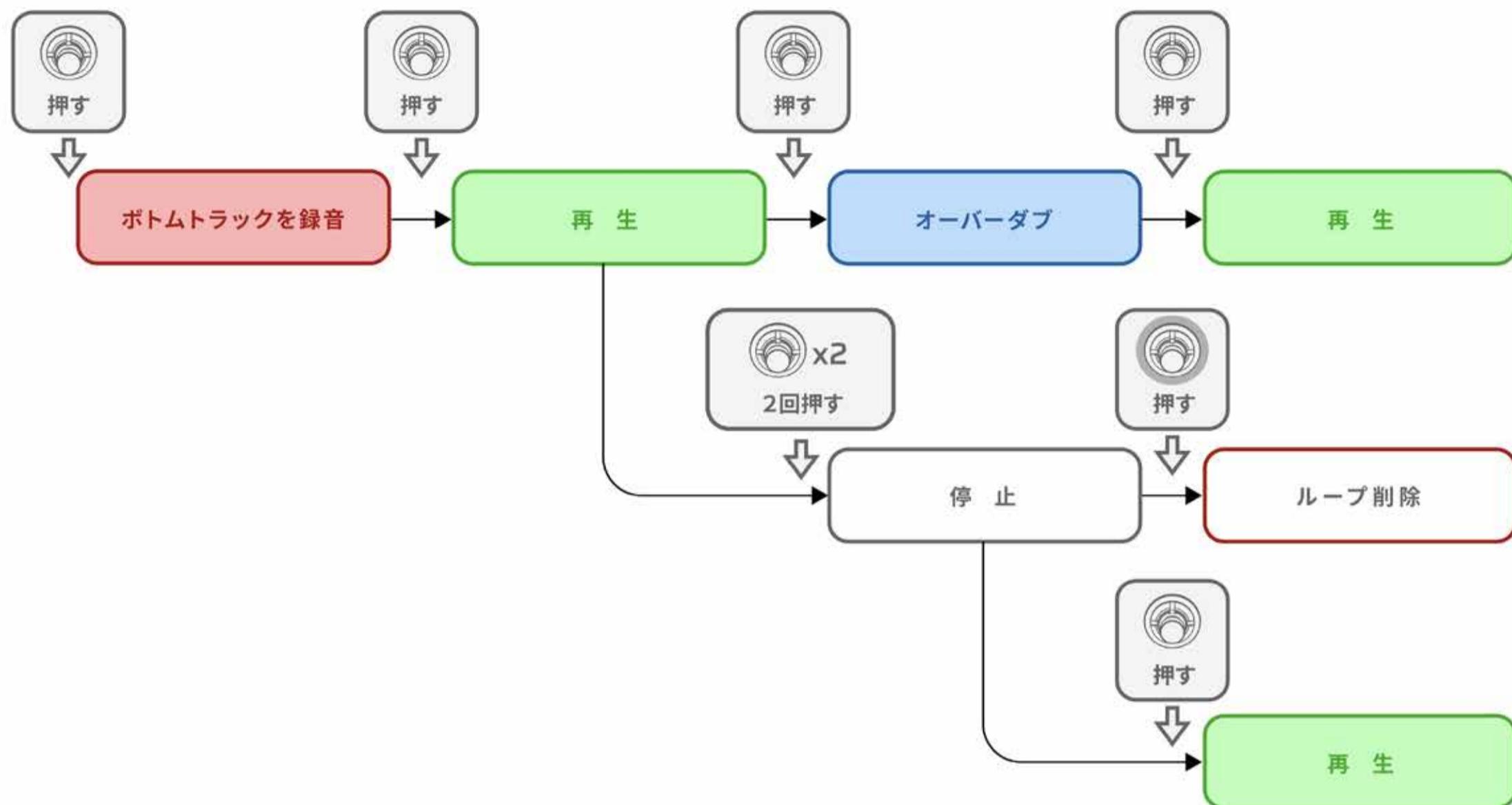
## LOOP 1・2 基本チュートリアル

### LOOP フットスイッチインジケーターの色

空の LOOP: 点灯しません

- **赤色点灯:** 下段トラックを録音中
- **緑色点灯:** 再生中
- **青色点灯:** オーバーダブ中
- **白色点灯:** ループ停止中
- **黄色点滅:** 選択したループが SERIAL モードで再生待機
- **赤色 3 回点滅:** ループ削除後
- **青色点滅:** 録音をアンドウした後
- **緑色点滅:** 録音をリドウした後

## 録音・再生・オーバーダブ・削除



「ボトムトラック」: 空の LOOP に最初に録音されたトラック

「オーバーダブ」：ボトムトラックの上に、2回目以降の録音を重ねること

「停止」: LOOP 再生中に 2 回押すと停止

## 「削除」：

- ボトムトラックだけが録音されている場合、再生中にフットスイッチを長押しするとそのトラックが直接削除
  - オーバーダブが含まれている場合、1回押す → 長押しという操作の組み合わせで全体のトラックを削除可能

アンドウ／リドウ



**「アンドウ」:**長押しでの Undo 操作は、直前に重ね録りしたオーバーダブトラックのみが対象でボトムトラック(最初の録音)には適用されません。

## 録音時間のヒント

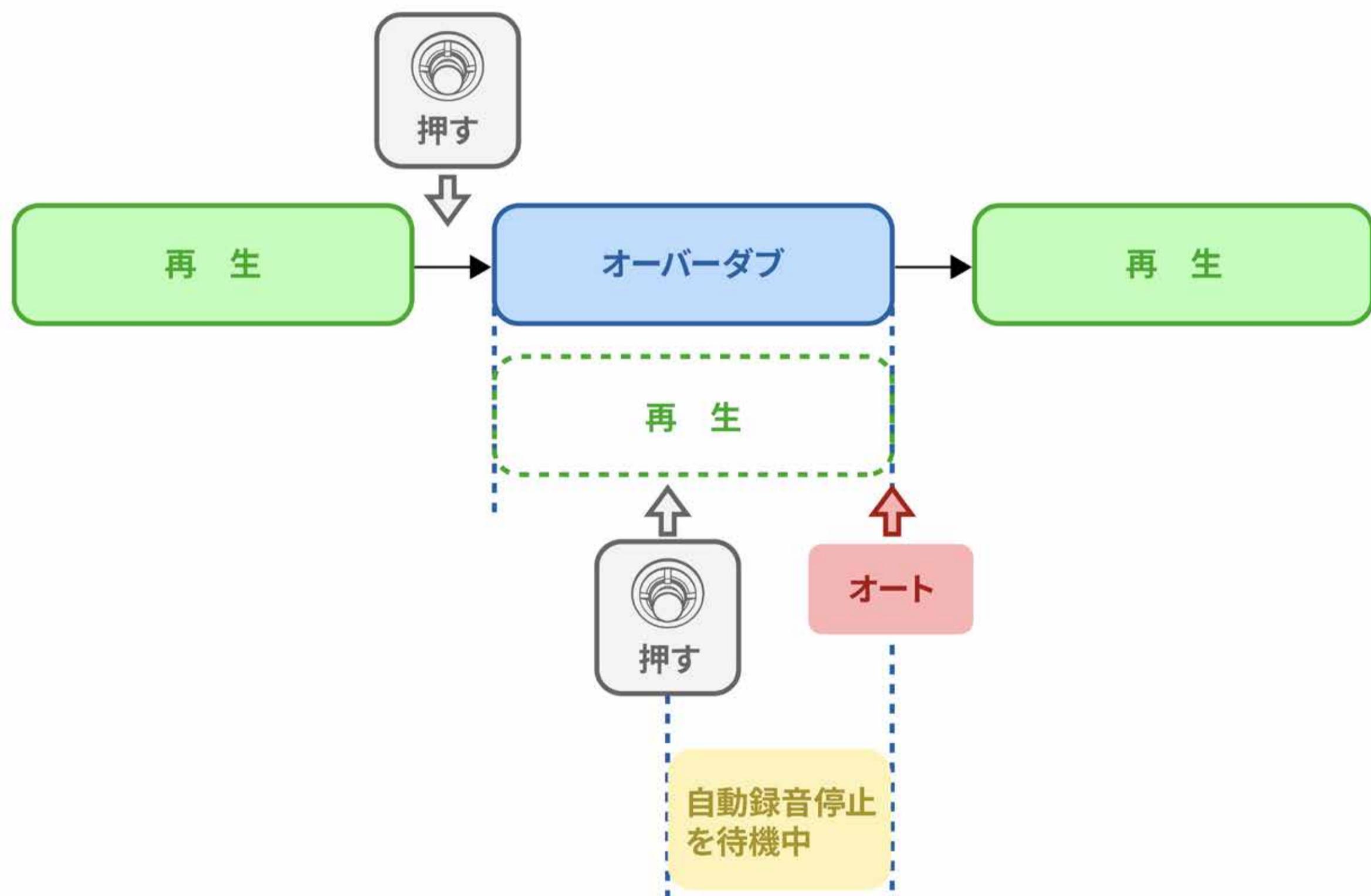
LOOP 1 または LOOP 2 の各オーバーダブトラックの長さは、自身のボトムトラックの長さの整数倍としてコントロールできます。

現在の LOOP に録音がある場合、オーバーダブの録音時間は現在のループトラックの長さの整数倍に設定されます。これはクリエイティブな演奏をする際に便利なテクニックです。

もし、フットスイッチを押して録音を終了しようとした時に、オーバーダブの録音時間が整数倍になっていない場合は、フットスイッチのランプが青色でゆっくり点滅し、録音が整数倍の長さになるまで自動的に終了しません。

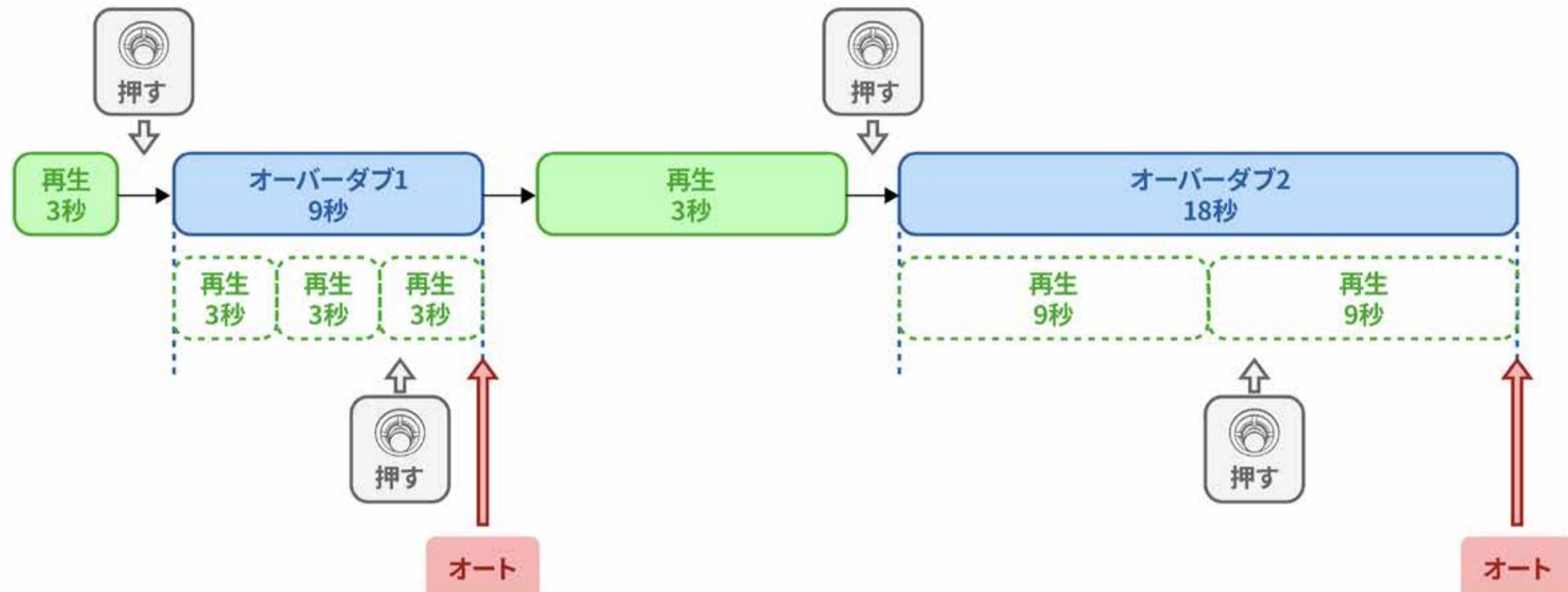
### 例 1:

最初のループの再生が終わる前にフットスイッチを押して、録音が自動的に終了するのを待ちます。この場合、オーバーダブの録音長は、現在のループの長さと同じになります。



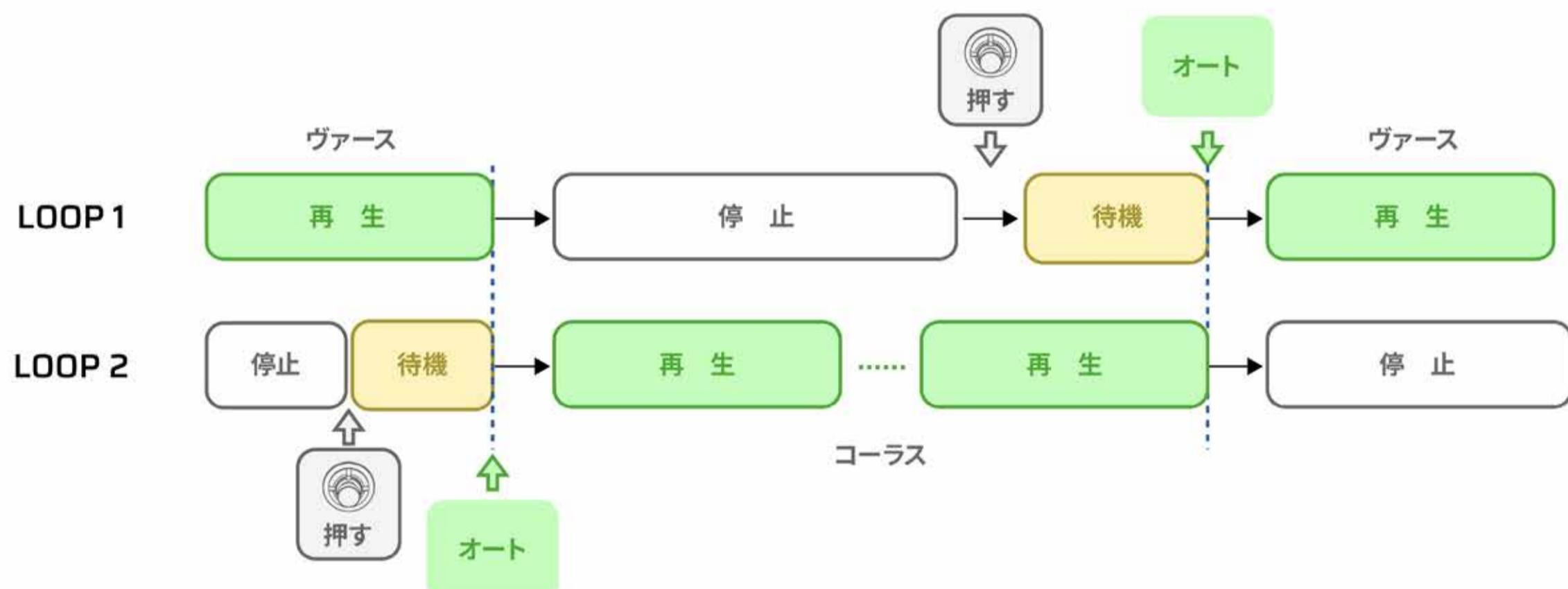
## 例 2：

3回目のループ再生が終わる前にフットスイッチを押して、現在のループ長さの3倍の長さでオーバーダブ1を録音します。その後、2回目のループ再生が終わる前にフットスイッチを押して、現在のループ長さの2倍の長さでオーバーダブ2を録音します。



## SERIAL / FREE モード

### SERIAL モード (LOOP 1・2 に録音がある場合)

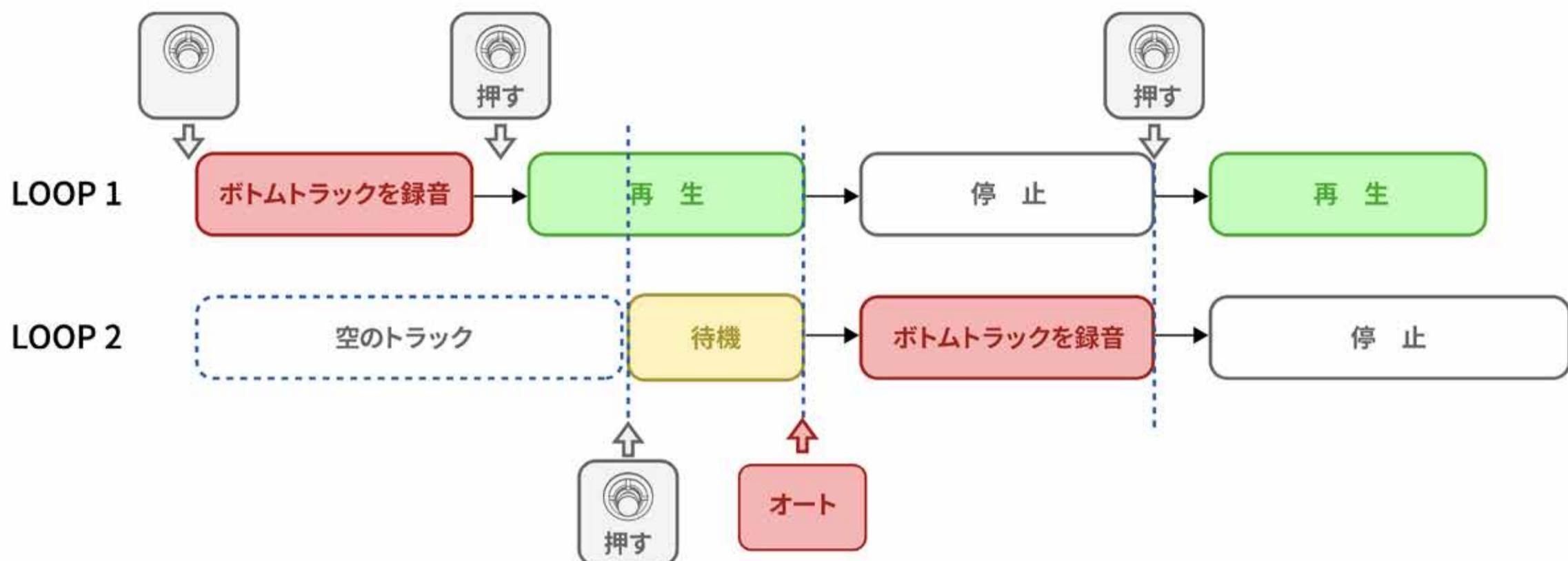


## 「SERIAL (シリアル) モード」について

LOOP 1 と LOOP 2 に録音がある場合、SERIAL モードでは 2 つのループトラックを順番に再生できます。これにより、2 つの異なるセクションをシームレスに切り替えながら曲構成をコントロールすることが可能です。

# 「Waiting (待機)」状態について

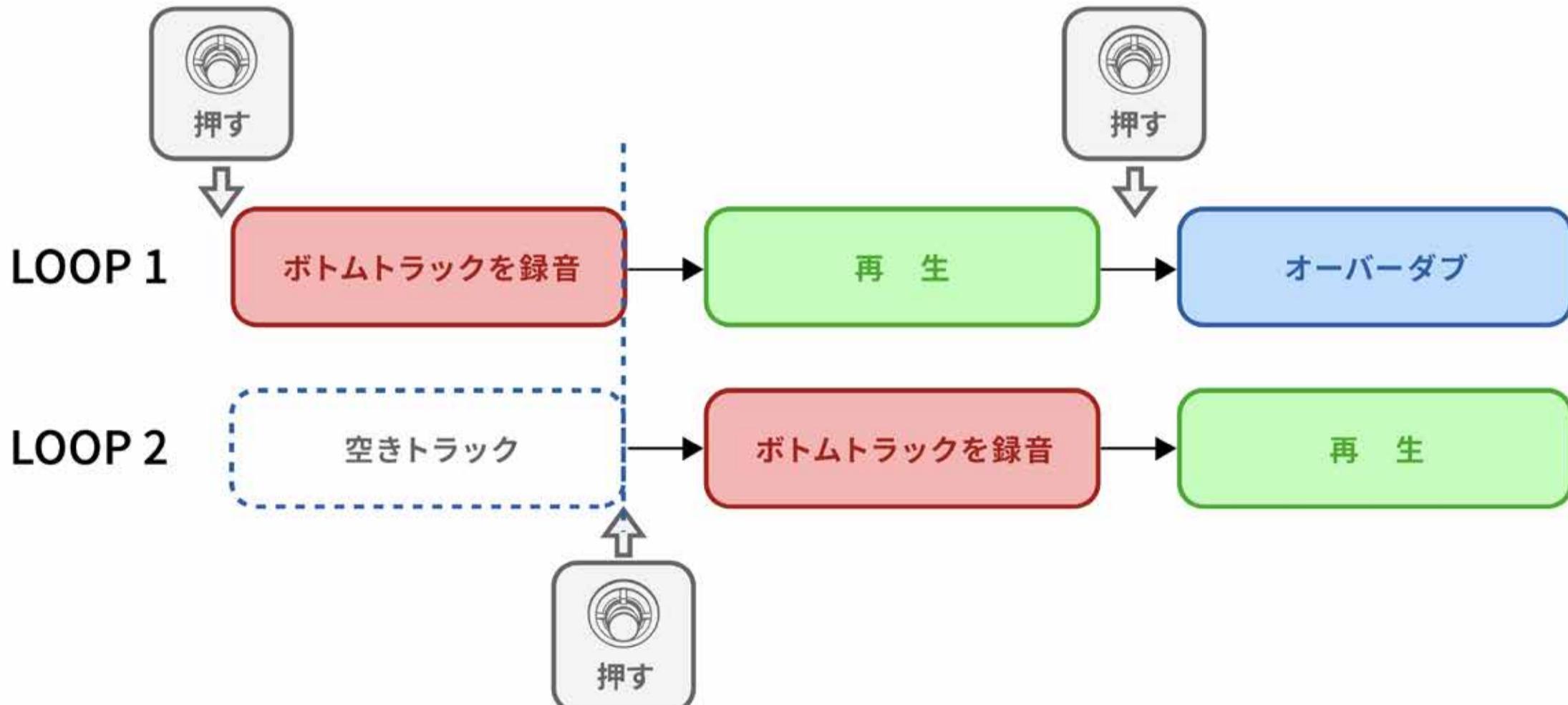
現在再生中のループトラックが終了する前に、もう一方のアクティブなループトラックが待機モード（黄色ランプ点滅）に入り、現在のループトラック終了後に自動的に再生が開始されます。

**SERIAL モード (LOOP 1・2 が空の場合)**

LOOP 1 と LOOP 2 が空の状態から始める場合、まず LOOP 1 にボトムトラックを録音し、再生します。次に LOOP 2 を押すと、「Waiting (待機モード)」に入り、LOOP 1 の現在のループが終了した直後に録音を開始します。もし、LOOP 2 の録音中に LOOP 1 を再度押すと、LOOP 1 の再生が即座に開始され、LOOP 2 の録音は自動的に停止します。

**FREE モード**

FREE モードでは、LOOP 1 と LOOP 2 を同時に再生できます。それぞれの録音時間は互いに影響を与えず、独立して動作します。つまり、このモードでは 2 つの完全に独立したルーパーを同時に使うことができる ということです。

**FREE モードでの録音**

LOOP 2 が再生中でも LOOP 1 に録音が可能です。ただし、LOOP 1 と LOOP 2 の同時録音はサポートされていません。片方のループを録音している間もう片方のループは録音できませんのでご注意ください。

## ドラムと同期

### ドラムマシン

VLP-400 には、24bit / 48kHz の高サンプリングレートのドラムサンプルを使用した、新たに 130 種類のリズムパターンが内蔵されています。

DRUM フットスイッチを押すと、ドラムマシンのオン／オフが切り替わります。

DRUM フットスイッチを長押しすると、Tap Tempo モードに入り、リズムの速度を調整できます。

Tap Tempo モード中は、DRUM の LED が BPM に合わせて点滅します。

長押しで Tap Tempo モードを終了します。

[RHYTHM/BPM] ノブを回してリズムパターンを選択します。

ノブを押すと、BPM 設定状態に切り替わります。

ノブを回して BPM を調整し、再度押すとリズム選択モードに戻ります。

### DRUM フットスイッチ インジケーターの色

ドラムオフ時：ランプは点灯しません

ドラムオン時：シアンブルーが常時点灯

Tap Tempo モード中：シアンブルーが点滅

### SYNC 機能

SYNC モードに切り替えた場合、プロジェクトの BPM を設定します。ドラムマシンを起動しながらループフレーズを録音すると、そのループフレーズは常にドラムマシンのリズムと同期して再生されます。

### AUTO ドラムモード

AUTO ドラムマシンモードに切り替えると、以下の 2 つのシナリオをサポートします。

1. ドラムマシンがオフの状態でループを録音・再生
2. ドラムマシンをオンにすると、システムが自動的に録音したフレーズのテンポに合わせてドラムマシンのテンポを調整し、ループフレーズとドラムのリズムを同期

## ASSIGNABLE フットスイッチ

### SERIAL モードでの ASSIGN 機能

ASSIGN ノブを使って、ASSIGNABLE フットスイッチに以下の機能を割り当てることができます。

#### OCTAVE (オクターブ) :

ASSIGNABLE フットスイッチを押すと、現在のトラックにオクターブ下げの効果が即座にかかります。録音の元の速度は変わりません。もう一度押すと効果がオフになります。OCTAVE がかかっている間も、LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

#### REVERSE (リバース) :

ループトラックを逆再生します。REVERSE 中も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

#### FREEZE (フリーズ) :

ループトラックの特定の瞬間のノートを無限に持続させます。再生の進行は停止せず、ASSIGNABLE フットスイッチを再度押すと FREEZE が解除され、ループは通常通り再生されます。FREEZE がかかっている間は、ループにオーバーダブできません。

#### HALF (ハーフ) :

ループトラックをピッチを変えずに再生速度を半分にします。HALF がかかっている間は、トラックの長さが元の 2 倍になります。

#### FADE (フェード) :

選択したループトラックの音量をフェードアウトします。同時に LOOP スイッチの LED が点滅し、再生が停止して白点灯になるまで続けます。フェードアウト時間はデフォルトで 20 秒です。FADE 中も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

#### ONCE (ワンス) :

ASSIGNABLE フットスイッチを押すと ONCE 機能がオンになります。その後 LOOP フットスイッチを押すと、現在のトラックが 1 回だけ再生されて自動停止します。再生中に同じ LOOP フットスイッチを押すと、もう一度 1 回だけ再生が再開されます。ASSIGNABLE を再度押すと ONCE 機能はオフになります。ONCE が有効な間はループにオーバーダブできません。

#### SOLO (ソロ) :

FREE モードのみで有効な機能です。

## FREE モードにおける ASSIGN 機能

### OCTAVE (オクターブ) :

ASSIGNABLE フットスイッチを押すとスタンバイモードに入り、LED が紫色に点滅します。この状態で LOOP 1 と LOOP 2 が交互状態 (LED が薄く点灯し再生は維持) になります。その後、どちらかの LOOP スイッチを押すことで、オクターブ効果をかけるトラックを選択します。OCTAVE 効果がかかっている間も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

### REVERSE (リバース) :

同様のロジックで、選択した LOOP トラックを逆再生します。REVERSE 効果中も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

### FREEZE (フリーズ) :

選択した LOOP トラックの特定のノートを無限に持続させます。FREEZE 中はオーバーダブできません。

### HALF (ハーフ) :

ピッチを変えずに、選択した LOOP トラックの再生速度を半分にします。HALF 効果中はトラックの長さが元の 2 倍になります。

### FADE (フェード) :

選択した LOOP トラックの音量をフェードアウトします。同時に LOOP スイッチの LED が点滅し、再生停止後に白色点灯してこの機能は自動でオフになります (フェードアウト時間はデフォルト 20 秒)。FADE 中も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

### ONCE (ワンス) :

ASSIGNABLE フットスイッチを押して ONCE 機能をオンにし、その後どちらかの LOOP フットスイッチを押すと、選択されたトラックが 1 回再生されて自動停止します。再生途中に同じ LOOP スイッチを押すと、もう一度 1 回だけ再生が再開されます。ASSIGNABLE を再度押すと ONCE 機能がオフになります。ONCE 中はオーバーダブできません。

### SOLO (ソロ) :

ASSIGNABLE スイッチを押して SOLO 機能をオンにし、その後選択した LOOP スイッチを押すと、そのトラックのみ単独で再生されます。他の LOOP スイッチを押せば、ソロの対象をいつでも切り替えられます。SOLO 効果中も LOOP フットスイッチは通常通り動作します。

#### 注意事項

ASSIGN ノブでエフェクトを切り替える際、もしその時点でエフェクトがオンになっている場合は、現在のエフェクトが自動的にオフになります。エフェクトの切り替えはオーバーダビングを自動的に停止します。FREEZE 機能がかかっているループでは、オーバーダビングできません。

エフェクトを切り替えると、オーバーダブは自動的に停止します。  
FREEZE 機能が有効な LOOP には、オーバーダブを行うことはできません。

## ASSIGNABLE その他の機能

### PLAY/STOP ALL:

ASSIGNABLE フットスイッチをダブルプレスすると、LOOP 1、LOOP 2、ドラムを同時に再生または停止できます。

### STACK:

FREE モードでは、ASSIGNABLE スイッチを長押しすると STACK 機能のプリセレクト状態になります。この状態でオーバーダブしたい LOOP トラックを選択すると、そのトラックがループサイクル内で自動的にオーバーダブされます。SERIAL モードでは、ASSIGNABLE スイッチを長押しすると、現在再生中のトラックを直接自動オーバーダブ状態にします。もう一度 ASSIGNABLE スイッチを長押しすると、STACK 状態を終了します。

#### ヒント

STACK オーバーダブ状態では、オーバーダブ時間が倍になりません。これにより、ベーストラック（ボトムトラック）の修正がしやすくなっています。

## ASSIGNABLE インジケーターの色

- ・何の機能や操作もないときは点灯しません。
- ・ASSIGN 機能が有効なときは、紫色のライトが常に点灯します。
- ・ASSIGN が待機モードのときは、紫色のライトが点滅します。
- ・PLAY/STOP ALL 操作時は、黄色のライトが一瞬点滅し、その後消灯するか、前のライト状態に戻ります。
- ・STACK モードの長押し

SERIAL モード：赤色のライトが常に点灯し、録音状態に入ります。

STACK を終了するために長押しすると、ライトは消えるか前の状態に戻ります。

FREE モード：待機状態に入ると赤色ライトが点滅し、トラック選択（任意の LOOP ペダルを押す）後、録音状態に入ると赤色のライトが常に点灯します。STACK を終了するために長押しすると、ライトは消えるか前の状態に戻ります。

## 録音プロジェクトと保存

VLP-400 には最大 99 個のプロジェクト保存スロットがあり、それぞれのスロットには最大 6 分のステレオ録音ファイルを 1 つ保存できます。

合計で最大 11 時間分のステレオ録音ファイルを保存可能です。

MEMORY ノブを回すことで、いつでもプロジェクトの切り替えや呼び出しができます。プロジェクトを選択すると、録音の開始位置で自動的に停止した状態になります。

### プロジェクト情報

各プロジェクトに保存される情報は以下の通りです。

LOOP 1 と LOOP 2 のすべての録音データ

選択されたドラムマシンのリズムパターン

ドラムマシンの BPM (テンポ)

このようなプロジェクト保存機能により、VLP-400 を持ち運べるバンドメンバーのように活用できます。

### プロジェクトの保存

プロジェクト情報が変更されると、画面の右下にある点が点灯し、プロジェクト情報の更新と保存が必要であることを示します。

その後、「MEMORY/SAVE」ノブを押すと保存待機状態になり、プロジェクト番号「PXX」が点滅します。

「MEMORY/SAVE」ノブを回して上書きする保存場所を選択し、もう一度ノブを押してプロジェクトを決定します。

画面に「SAV」が約 3 秒間表示され消えると、保存が確定したことを示します。

LOOP 録音が上限 (6 分) に達すると、自動的に録音が停止します。

保存を確定する前に保存を中止したい場合は、エンコーダーを長押しすると元の状態に戻ります（新しい録音は削除されません）。

## 外部フットスイッチ (CTRL1・2) の機能

MEMORY ノブを長押しすると、外部フットスイッチの機能割り当てオプションに入ります。

ノブを回して CTRL1 ペダルの機能を選択し、押して確定すると CTRL2 の機能選択に移ります。続けて押して機能を確定します。

CTRL1 と CTRL2 の機能は切り替え可能で、長押しすると外部フットスイッチの割り当て設定を終了します。

以下にコントロール機能の対応表を示します。

Display	External footswitch function
1MU	CTRL1-Switch to previous project
1MD	CTRL1-Switch to the next project
1A1	CTRL1-OCTAVE
1A2	CTRL1-REVERSE
1A3	CTRL1-FREEZE
1A4	CTRL1-HALF
1A5	CTRL1-FADE
1A6	CTRL1-ONCE
1A7	CTRL1-SOLO
2MU	CTRL2-Switch to previous project
2MD	CTRL2-Switch to the next project
2A1	CTRL2-OCTAVE
2A2	CTRL2-REVERSE
2A3	CTRL2-FREEZE
2A4	CTRL2-HALF
2A5	CTRL2-FADE
2A6	CTRL2 -ONCE
2A7	CTRL2-SOLO

### ヒント:

外部スイッチで ASSIGN 機能を切り替える際、効果がオンの場合は現在の効果も自動的にオフになります。  
外部ペダルを ASSIGN 機能に設定した場合は、使用方法について「ASSIGNABLE フットスイッチ」をご参考ください。

# MIDI 機能

## MIDI チャンネル選択

LOOP 2 フットスイッチを押しながら電源を入れると、MIDI チャンネル選択モードに入ります。画面に「C01」と表示され、これは MIDI チャンネル 1 を示します。MEMORY ノブを回すと「C01」から「C16」までのチャンネルを選択できます。選択が完了したら、機器を再起動するとチャンネル設定が自動的に保存され、通常の動作モードに入ります。初期設定の MIDI チャンネルはチャンネル 1 です。

## MIDI インターフェースロジック

**1. MIDI IN 信号がない場合:** MIDI IN 信号がない場合、VLP-400 はマスタークロックとして動作します。MIDI OUT ポートからは機器内部の BPM 信号が送信され、他の機器を同期させます。

**2. MIDI IN 信号がある場合:** MIDI IN 信号が検出されると、VLP-400 は受信デバイスとして動作します。MIDI OUT ポートは受信した MIDI 信号を自動的に転送します（デフォルト設定）。

MIDI Control: Variable Parameters		
CC#	Data (Range)	Parameter
1	0~24	Footswitch Action*
2	0~127	LOOP 1 Playback Volume
3	0~127	LOOP 2 Playback Volume
4	0~127	DRUM Playback Volume
5	0	Project UP
6	0	Project DOWN

MIDI Control: Footswitch Action (CC#1)	
Data	Parameter
0	Play/Stop All (LOOP 1, LOOP 2 and DRUM)
1	DRUM Play/Stop
2	Tap Tempo
3	LOOP 1 Rec/Overdub
4	LOOP 1 STACK
5	LOOP 1 Play/Stop

## MIDI Control: Footswitch Action (CC#1)

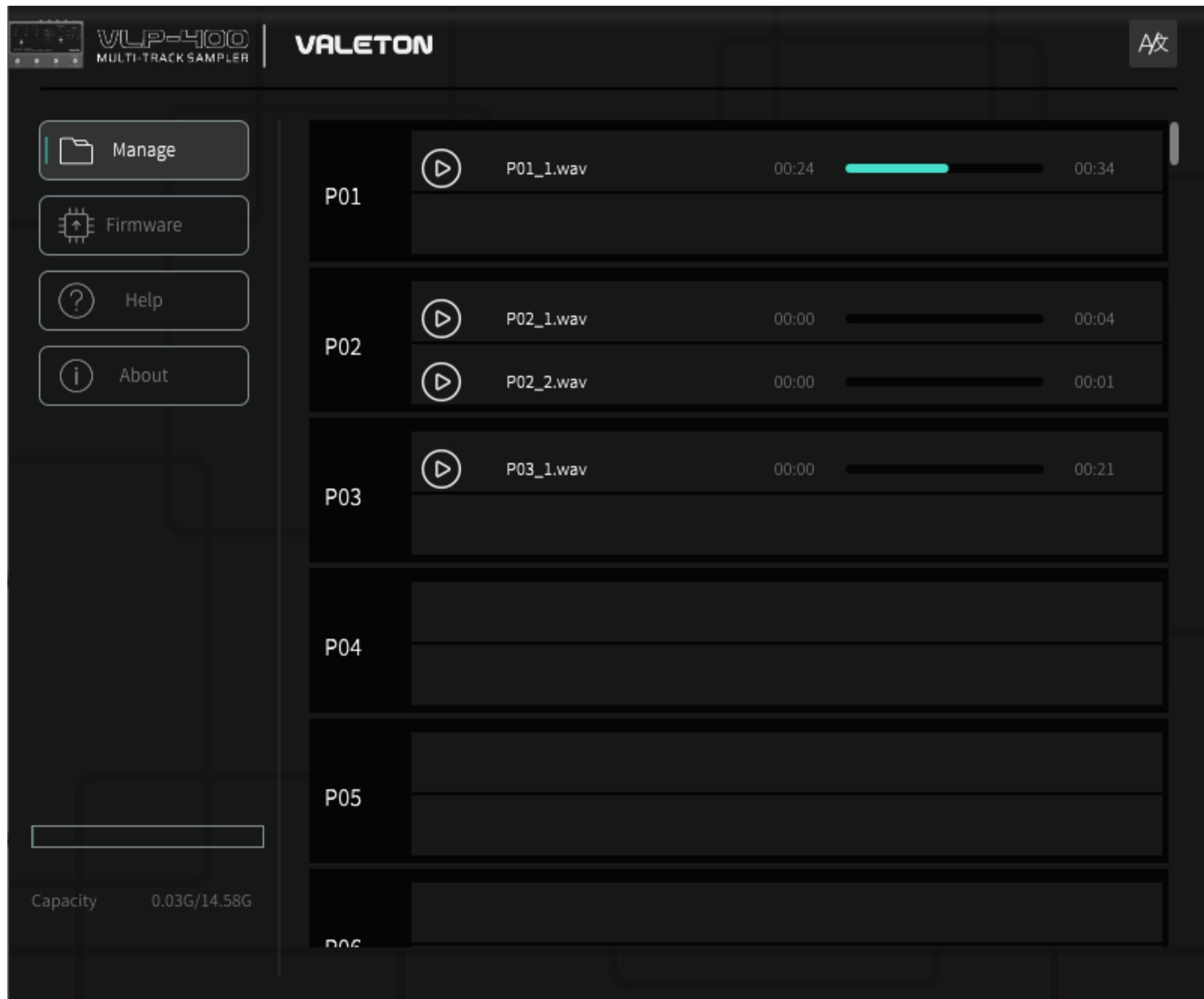
Data	Parameter
6	LOOP 1 Undo/Redo
7	LOOP 2 Record/Overdub
8	LOOP 2 STACK
9	LOOP 2 Play/Stop
10	LOOP 2 Undo/Redo
11	LOOP 1 OCTAVE ON/OFF
12	LOOP 2 OCTAVE ON/OFF
13	LOOP 1 REVERSE ON/OFF
14	LOOP 2 REVERSE ON/OFF
15	LOOP 1 FREEZE ON/OFF
16	LOOP 2 FREEZE ON/OFF
17	LOOP 1 HALF ON/OFF
18	LOOP 2 HALF ON/OFF
19	LOOP 1 FADE ON/OFF
20	LOOP 2 FADE ON/OFF
21	LOOP 1 ONCE Triger
22	LOOP 2 ONCE Triger
23	LOOP 1 SOLO ON/OFF
24	LOOP 2 SOLO ON/OFF

## 対応ソフトウェア

VLP-200 を USB 経由でパソコンに接続すると、VLP-200 のプロジェクト管理やファームウェアアップデート用の無償ソフトウェアを利用することができます。/LP-200 ソフトウェアは Windows および Mac OS プラットフォームをサポートします。

<https://www.valeton.net/software> にアクセスしてください。

該当ページから VLP-200 ソフトウェアをダウンロードし、インストール後にご利用いただけます。



## スペシフィケーション

### スペシフィケーション

- ・AD/DA 変換: 32 ビット / 48kHz
- ・プロジェクト保存数: 99 スロット
- ・最大録音時間: 約 12 時間
- ・録音オーディオ形式: WAV (32 ビット・フロート、48kHz、ステレオ)
- ・内蔵ドラムマシン: 130 種類のリズムパターン+メトロノーム
- ・再生モード: SERIAL (シリアル) および FREE (フリー)
- ・MIDI (IN/OUT) : 5 ピン MIDI インターフェース

### アナログ入出力

- 入力端子 (L/R) : 6.35mm (1/4 インチ) TS 端子 × 2
- 入力インピーダンス: 1M Ω
- 出力端子 (L/R) : 6.35mm (1/4 インチ) TS 端子 × 2
- 出力インピーダンス: 4.7k Ω

### ヘッドフォン出力

- 端子: 3.5mm (1/8 インチ) TRS 出力
- 出力インピーダンス: 160 Ω

### デジタル接続

- USB 端子: USB 2.0 Type-C インターフェース

### 寸法および重量

- 寸法: 253mm (奥行) × 165.3mm (幅) × 58mm (高さ)
- 重量: 1295g

### 電源

必要電源: DC 9V、500mA、センターマイナス

## トラブルシューティング

### デバイスが起動しない

- ・電源端子が正しく接続されているか確認してください。
- ・正しい電源アダプターを使用しているか確認してください。

### 音が出ない、または音量が小さい

- ・入出力ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ケーブルおよび各端子が正常に接触しているか確認してください。
- ・LOOP 1、LOOP 2、およびドラムマシンの各ボリュームノブが適切な位置に設定されているか確認してください。
- ・接続しているオーディオ機器がミュート状態でないか確認してください。

### ノイズがひどい

- ・接続ケーブルが正常に接触しているか確認してください。
- ・使用している楽器の出力端子が正常に動作しているか確認してください。

### 録音／保存の問題

- ・1 トラックあたりの最大録音時間（6 分）を超えていないか確認してください。

### ドラムの同期について

- ・録音済みの LOOP ファイルとドラムマシンを再生する際は、正確な拍に合わせて再生またはセクション切り替えを行ってください。
- ・録音後にプロジェクトのドラムテンポ（BPM）を変更すると、SYNC 機能は無効になります。

## ドラムリズムパターン一覧

Rhythm	Time Signature	Tempo	No.
Rock 1	4/4	120	1
Rock 2	4/4	120	2
Rock 3	4/4	120	3
Rock 4	4/4	120	4
Rock 5	4/4	120	5
Rock 6	4/4	120	6
Rock 7	4/4	120	7
Funk 1	4/4	120	8
Funk 2	4/4	120	9
Funk 3	4/4	120	10
Funk 4	4/4	120	11
Funk 5	4/4	120	12
Breakbeat 1	4/4	120	13
Breakbeat 2	4/4	120	14
Breakbeat 3	4/4	120	15
Breakbeat 4	4/4	120	16
Breakbeat 5	4/4	120	17
Breakbeat 6	4/4	120	18
Breakbeat 7	4/4	120	19
Breakbeat 8	4/4	120	20
Breakbeat 9	4/4	120	21
Breakbeat 10	4/4	120	22
Drum&Bass 1	4/4	120	23
Drum&Bass 2	4/4	120	24
Drum&Bass 3	4/4	120	25
Drum&Bass 4	4/4	120	26
Drum&Bass 5	4/4	120	27
Drum&Bass 6	4/4	120	28
Drum&Bass 7	4/4	120	29
Drum&Bass 8	4/4	120	30
Drum&Bass 9	4/4	120	31
Jazz 1	4/4	120	32
Jazz 2	4/4	120	33
Jazz 3	4/4	120	34
Jazz 4	4/4	120	35
Jazz 5	4/4	120	36
Jazz 6	4/4	120	37
Jazz 7	4/4	120	38

Rhythm	Time Signature	Tempo	No.
Jazz 8	4/4	120	39
Jazz 9	4/4	120	40
Jazz 10	4/4	120	41
Metal 1	4/4	120	42
Metal 2	4/4	120	43
Metal 3	4/4	120	44
Metal 4	4/4	120	45
Metal 5	4/4	120	46
Metal 6	4/4	120	47
Metal 7	4/4	120	48
Metal 8	4/4	120	49
Metal 9	4/4	120	50
Metal 10	4/4	120	51
Ambient 1	4/4	120	52
Ambient 2	4/4	120	53
Ambient 3	4/4	120	54
Ambient 4	4/4	120	55
Ambient 5	4/4	120	56
Ambient 6	4/4	120	57
Country 1	4/4	120	58
Country 2	4/4	120	59
Country 3	4/4	120	60
Country 4	4/4	120	61
Country 5	4/4	120	62
Country 6	4/4	120	63
Country 7	4/4	120	64
Country 8	4/4	120	65
Trip hop 1	4/4	120	66
Trip hop 2	4/4	120	67
Trip hop 3	4/4	120	68
Trip hop 4	4/4	120	69
Trip hop 5	4/4	120	70
Trip hop 6	4/4	120	71
Trip hop 7	4/4	120	72
Trip hop 8	4/4	120	73
Trip hop 9	4/4	120	74
Trip hop 10	4/4	120	75
Dance 1	4/4	120	76
Dance 2	4/4	120	77
Dance 3	4/4	120	78
Dance 4	4/4	120	79

Rhythm	Time Signature	Tempo	No.
Dance 5	4/4	120	80
Dance 6	4/4	120	81
Dance 7	4/4	120	82
707Kit 1	4/4	120	83
707Kit 2	4/4	120	84
Latin 1	4/4	120	85
Latin 2	4/4	120	86
Latin 3	4/4	120	87
Latin 4	4/4	120	88
Pop 1	3/4	120	89
Pop 2	4/4	120	90
Pop 3	4/4	120	91
Bossa 1	4/4	120	92
Shuffle 1	4/4	120	93
Shuffle 2	4/4	120	94
Funk 6	4/4	120	95
Funk 7	4/4	120	96
Funk 8	4/4	120	97
Pop 4	4/4	120	98
Pop 5	4/4	120	99
Pop 6	4/4	120	100
Pop 7	4/4	120	101
Pop 8	4/4	120	102
Pop 9	4/4	120	103
Pop 10	3/4	120	104
Pop 11	4/4	120	105
R&B 1	4/4	120	106
R&B 2	4/4	120	107
R&B 3	4/4	120	108
R&B 4	4/4	120	109
Rock 8	4/4	120	110
Rock 9	4/4	120	111
Rock 10	4/4	120	112
Rock 11	4/4	120	113
Rock 12	4/4	120	114
Rock 13	4/4	120	115
Rock 14	4/4	120	116
Rock 15	4/4	120	117
Rock 16	4/4	120	118
Rock 17	4/4	120	119
Rock 18	4/4	120	120

Rhythm	Time Signature	Tempo	No.
Rock 19	4/4	120	121
Rock 20	4/4	120	122
Rock 21	4/4	120	123
Rock 22	4/4	120	124
3/4 Metronome	3/4	120	125
4/4 Metronome	4/4	120	126
5/4 Metronome	5/4	120	127
6/4 Metronome	6/4	120	128
6/8 Metronome	6/8	120	129
7/4 Metronome	7/4	120	130

